

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

令和5年の労働争議の状況を見ると、「総争議」の件数は292件、総参加人員は101,253人となっており、前年に比べ、件数は22件（8.1％）増、総参加人員は47,734人（89.2％）増となった。「総争議」の件数は長期的には減少傾向で推移してきたが、令和元年以降は横這い圏内で推移している。

「争議行為を伴う争議」の件数は75件、行為参加人員は8,414人となっており、前年に比べ、件数は10件（15.4％）増、行為参加人員は1,967人（30.5％）増となった。（第1表、第1図、10頁附表）

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
令和元年	268	105,340	49	57,345	17,763	219	47,995
2	303	57,426	57	32,436	6,013	246	24,990
3	297	60,389	55	38,540	7,858	242	21,849
4	270	53,519	65	37,881	6,447	205	15,638
5	292	101,253	75	80,300	8,414	217	20,953
令和5年の 対前年増減数 (件・人)	22	47,734	10	42,419	1,967	12	5,315
令和5年の 対前年増減率 (%)	8.1	89.2	15.4	112.0	30.5	5.9	34.0

第1図 労働争議の種類別件数の推移

